



教育学部イメージキャラクター
梨子ちゃん和大福くん

「やまなし教員等育成指標」に基づいた 初任者研修システム及び研修プログラムの 実施と検証

—山梨大学教育学部と山梨県教育委員会との連携による教員の資質・能力の向上—

若手教員学習会

初任者研修会への大学教員の派遣

Index

- 教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業の概要 p.2～p.3
- 若手教員学習会 p.4～p.5
- 初任者研修会への大学教員の派遣 p.6
- 教育フォーラム・附属学校園公開研究会 p.7
- 学部長メッセージ Information p.8

【事業概要】

- 大学と教育委員会との連携による「やまなし教員等育成指標」に基づいた研修システムの改善・実践
- 教師の成長と一人ひとりの子どもの成長をつかむ評価システムなど、初任者の育成を支える評価方法の検討・実践・検証
- 大学と教育委員会との連携による研修プログラムの実施とその効果検証

平成 31 年 3 月
山梨大学教育学部

教員の養成・採用・研修の 一体的改革推進事業の概要



事業について

本事業は、「人材育成の中核を担うのが学校教育であり、中でも教育の直接の担い手である教員の資質能力を向上させることは最も重要である」という趣旨のもと、「教員が、自ら学び続ける強い意志を備え、これらの資質能力を教職生涯にわたって向上させていくことができる」ための取組について調査研究を行うことを目的に、文部科学省から委託された事業です。

山梨大学教育学部では、『やまなし教員等育成指標』に基づいた初任者研修システム及び研修プログラムの実施と検証」というテーマのもと、山梨県教育委員会と連携して、教員の資質能力の向上に資する取組について、調査研究を行いました。

事業を行う理由

山梨大学教育学部と山梨県教育委員会は、連携協力に関する覚書を締結しており、「養成－採用－研修」の一体的な改革を進めてきています。そこでは、本県に以下のような課題があることが明らかになり、この課題への速やかな対応が求められています。

- ① 平成 29 年 11 月に策定された「やまなし教員等育成指標」をもとにした、これからの山梨県における教員の成長を支援していくための教員研修システムの開発
- ② 退職者の増加に伴うベテラン教員の減少と初任者の増加といった、山梨県の教員バランスの変化に対応した初任者研修の充実
- ③ 「やまなし教員等育成指標」に基づいた初任者研修プログラムのあり方を見直し、自己の成長と子どもの成長とを省察し、資質能力を育成し続けていけるような研修方法の確立

本事業では、上記の課題解決に向けて、山梨大学教育学部と山梨県教育委員会が理論的・実践的に、より一層連携して取り組むことで、今後の山梨県における教育の質の維持・向上を図っていきたいと考えています。

調査研究の目的

本事業での調査研究の目的は、山梨大学教育学部と山梨県教育委員会の連携による、教員の資質能力を向上させるための具体的な研修プログラムを提案することです。

本事業では、以下の 4 点を中心にして、実践と検証を行いました。

- ① 「やまなし教員等育成指標」に基づいた研修プログラムの見直しと改善のために、特に初年次、2 年目、3 年目までの初任者研修プログラムのあり方を見直し、初任者に自ら学びを続け、自己成長を促していく基礎的な能力を育む取組を検討すること。
- ② 初任者が、自己の成長と子どもの成長とを省察し、教員として成長し続けていけるような研修方法を検討し、その確立を目指す。具体的には、p.4～p.5にある OPPA 論の導入を図ること。
- ③ 初年次教育の改善を契機にして、第 2 ステージ、第 3 ステージ以降の研修プログラムのあり方や運用システム等を検討する基盤づくりを行うこと。
- ④ 研修プログラムの実施と検証を通じて、山梨大学教育学部と山梨県教育委員会との連携を一層強化する中で、山梨大学教職大学院の事例をもとに、大学が「採用－研修」に関して、専門的な知見から支える体制を一層充実させること。

具体的な取組内容

上記の目標を達成するために、主として以下の 4 点に取り組みました。

- ① 山梨大学教育学部と山梨県教育委員会の連携協議会の開催
「やまなし教員等育成指標」に基づいた教師の成長を支える研修体制のあり方、研修内容の体系化などについて協議を行い、教育委員会が計画している初任者研修プログラムの内容について検討するなど、初任者研修システム改善の具体的な施策等を検討しました。また、「やまなし教員等育成指標」の全教員への周知徹底や研修管理システムの改善などの方法についても協議を行いました。

② 若手教員学習会の開催

山梨県教育委員会と連携し、「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価－OPP シートによる学習・指導と評価の一体化－」というテーマのもと、初任から概ね 3 年目の教員を対象に、子どもの見取り方等についての学習会を開催しました。

③ 初任者研修会への大学教員の派遣

山梨県教育委員会・市町村教育委員会が拠点校で行ってい

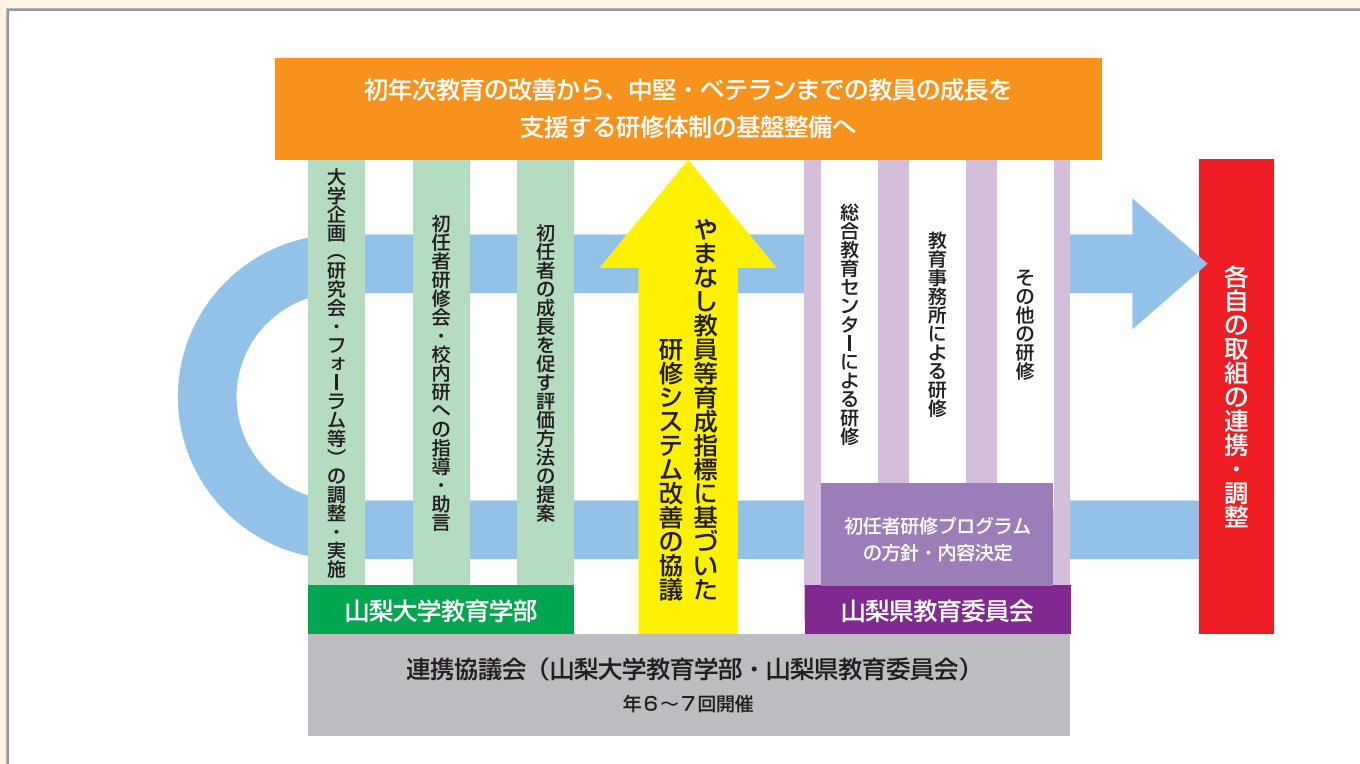
る初任者研修会への指導・助言者としての大学教員の派遣事業を試行し、その効果を検証しました。

④ 教育フォーラム等の開催

山梨大学教育学部と山梨県教育委員会が共催し、2 回の教育フォーラムを開催しました。県内の実践者をお招きし、教育現場が直面している課題について議論する場を設定しました。

年間の流れ

6 月	第 1 回連携協議会、教員研修WG会議① 附属学校園（幼・小・中）の公開研究会 初任者研修会への大学教員の派遣	12 月	第 5 回連携協議会、教員研修WG会議⑤ 若手教員学習会（富士・東部教育事務所管内） 初任者研修会への大学教員の派遣 附属学校園（幼稚園）の公開研究会
8 月	第 2 回連携協議会、教員研修WG会議②	1 月	若手教員学習会（中北教育事務所管内） 初任者研修会への大学教員の派遣 附属学校園（特別支援）の公開研究会
9 月	第 3 回連携協議会、教員研修WG会議③ 初任者研修会への大学教員の派遣	2 月	第 6 回連携協議会、教員研修WG会議⑥ 教育フォーラム（「子どもの育ちと外国語教育」）
10 月	第 4 回連携協議会、教員研修WG会議④ 初任者研修会への大学教員の派遣 若手教員学習会（峡東教育事務所管内）	3 月	第 7 回連携協議会、教員研修WG会議⑦
11 月	若手教員学習会（峡南教育事務所管内） 教育フォーラム（「考える道徳」の授業づくりー内容・方法・評価を捉えなおすー） 初任者研修会への大学教員の派遣		



事業計画のイメージ図

若手教員学習会



事業概要

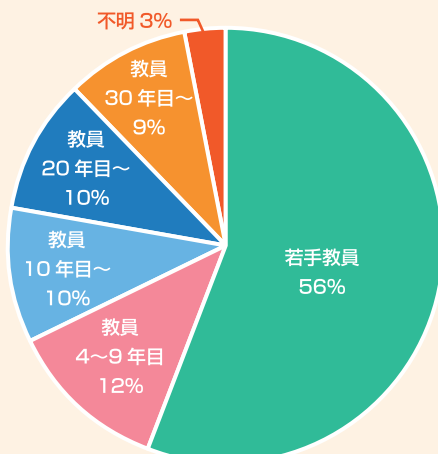
山梨県教育委員会と連携し、若手教員学習会「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価－OPPシートによる学習・指導と評価の一体化－」を開催しました。本学習会では、より多くの先生方が参加できるように、教育事務所ごと県内4地区で同じ内容の講座を以下の日程で実施しました。

- 峡東地区
(東山梨合同庁舎 平成30年10月18日)
- 峡南地区
(身延町総合文化会館 平成30年11月1日)
- 富士・東部地区
(都留市まちづくり交流センター 平成30年12月11日)
- 中北地区
(敷島総合文化会館 平成31年1月17日)

学習会では、各地区の教育事務所に御協力いただき、多くの学校に周知をしていただいた結果、初任者から採用3年目までの若手教員だけでなく、中堅、ベテラン教員も参加し、全会場で合計294名の方に参加していただきました。

参加者の約6割が若手教員でした。校種別にみると、約6割が小学校、3割が中学校、1割が高校と特別支援学校の教員でした。

学習会参加者の内訳

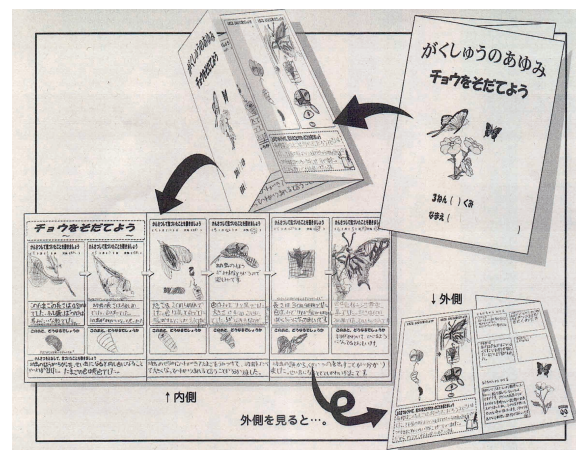


(参加者のOPPシートから集計)

OPPAとは？

OPPAとは、One Page Portfolio Assessmentの略称で、「一枚ポートフォリオ評価法」と呼ばれるものです。山梨大学理事の堀哲夫氏が開発し、これからの評価を考える重要な理論・方法として注目されています。

このOPPAは、学習者が一枚のシート(OPPシート)の中に学習の成果を学習履歴として記録し、学習の全体を学習者自身に自己評価させる方法です。シートは、①単元開始前と終了後に記入する「本質的な問い」(教師がこの単元を通して最も掴ませたい内容を問いの形で示したものと)、②授業の中で学習者が一番大事だと思ったことや自分が考えた今日の授業のタイトルなどを授業ごとに記入する部分、に分かれています。



佐野良「生物の観察過程を重視した一枚ポートフォリオ」堀哲夫編「子どもの学びを育む 一枚ポートフォリオ 理科」日本標準、2004年、71ページより

OPPAの特徴は、子どもの成長と教師の成長とをつなげるところにあります。学習者にとっては、自分の学習の成果を振り返り、自分の成長をつかむことができるものであり、教師にとっては一人ひとりの子どもの学びの状況を把握し、毎回の授業を振り返り、授業の改善につなげることができるものです。

活動報告

若手教員学習会では、

- 堀哲夫氏による OPPA 理論についての解説
- 外部講師による OPPA に基づいた授業実践事例の報告
- 自分が担当する授業で OPP シートをつくるための「本質的な問い」を考える演習・グループワーク

を行いました。また、OPP シートの効果を実感してもらうために、本学習会用の OPP シートに実際に記入し、自身の変容・成長について振り返る活動を行いました。



会場風景
上:富士・東部地区
右:峡南地区

成果と課題

学習会の最初と最後に記入した OPP シートの問い「授業を通して一人ひとりの子どもの成長を引き出すためには何が重要だと思いますか?」の内容を各自で振り返ってもらった結果、ほとんどの参加者が、自分の授業に対する考え方が変容していることを発見していました。

子どもの成長と教師の成長をつなげて考えることの重要性を新たに発見したという記述や、自己の理解の枠組みが広がったり、これまで自己になかった視点を自覚したりできたという記述、自分のこれまでの考え方がさらに深まった、質が深まったという記述など、学習会に参加したことにより、多くの気付き・発見があったとの振り返りがありました。一方で、OPPA についてもっと知りたい、具体的な教科でどう

進めていくのかについて考えたいという声もありました。

参加者の OPP シートから、教師が専門性を自ら高めていく力を育てていくための研修の視点も浮かび上がってきました。特に、教師自身が自己の「専門性とは何か」を継続的に考え、「やまなし教員等育成指標」に基づいて自身の課題を自覚できるようにすることが課題となっています。

これらの成果と課題を踏まえて、次年度もこのような OPPA についての学習会（名称「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会」）を山梨県教育委員会との共催により県内各地で行うなど、教員の養成・採用・研修の一体化のための活動を進めていく予定です。

校種(小・中・高・特・短) (いずれかに○) 担任者・教職経験()年且(該当箇所には記入)

【受講前に記入してください】
授業を通して一人ひとりの子どもの成長を引き出すためには何が重要だと思いますか?

【受講後に記入してください】
授業を通して一人ひとりの子どもの成長を引き出すためには何が重要だと思いますか?

【受講後に記入してください】
授業を通して一人ひとりの子どもの成長を引き出すためには何が重要だと思いますか?

受講前・受講後に書いた文章を比べて気付いたこと、感じたこと、気付いたことを書いてください。

講習会の中で疑問点などあれば書いてください。

※このシートは皆さんがこれからのご自身の課題について考えるためのもので、みなさん個人の研修の評価には使いません。山梨大学教育学部の授業の評価・検定に用います。

学習会配付のOPPシート

学習会配付資料から

初任者研修会への大学教員の派遣



事業概要

山梨県教育委員会・市町村教育委員会が拠点校等で行っている初任者研修等へ、本学部の教員を指導・助言者として派遣する事業を以下の通り行いました。

- 派遣期間・回数
平成30年6月22日(金)～平成31年1月29日(火) 計25回
- 派遣人数
25人
- 派遣校種
小学校：12校、中学校：9校、高等学校：4校
- 研修内容
初任者研修「異校種研修」：6回
(小学校算数・理科・体育、中学国語・英語・特活)
初任者による「研究授業」：19回
(小学校算数・道徳、中学校国語・社会・英語、
高等学校国語総合・政治経済・物理基礎・化学基礎)

初任者の声

- 授業に対する助言を受けて、もう一度同じ授業をする機会があればいいと思った。
- 子どもたちに対して、もっとできる、もっと良くなるという思いをもち続けることが大切だと感じた。その思いをもち続けることで、教師の言動が変わり、子どもたちが変わっていくのだと感じた。
- 授業の中で子どもから出てくる一つ一つのつぶやきや言葉を大切に、改めて授業を作っていきたいと考えました。



派遣教員の声

- 初任者に今後自信をもって学習指導に取り組んでもらえるよう、良い点をほめることと、教材研究や児童の考えの取り上げ方など、授業から見える課題を丁寧に指導することができるようにという意図をもって参加しました。
- 道徳の教科化に伴い、「正解」のない多様な考え方や価値観を子どもたちに学ばせる中で、教員がいかに中立性を担保しつつ、児童の発言を促進し、価値観を共有させるのかを学びたいと考え、研修会に参加しました。
- 初任者研修に取り組まれている教員が、どのような願いやねらいをもとに授業を構想し、実践し、授業を内省的に振り返っているかということの実情を知り、今後の実践に寄与できるような対話をしたいという意図を思っ参加しました。



成果と課題

大学教員が学校現場の研修にかかわることで、「これまでとは違った別の視点からの指導・助言を受けられ、初任者研修がより深まった」という意見が多く聞かれました。また、本事業では、初任者のための研修としてだけでなく、派遣された大学教員にとっても、学校現場と関わりをもつことで地域と大学との連携の在り方を考える重要な機会となりました。

今後の課題としては、学校現場における大学教員のよりよい関わり方について、さらに研究を深め、改善していくことが挙げられます。

大学として初めての試みでしたが、今年度の成果と課題を踏まえながら、今後も事業を継続していきたいと思えます。

教育フォーラム・ 附属学校園公開研究会



教育フォーラム

山梨大学教育学部では、県内の先生方の研修の機会の提供を目的にして、山梨県教育委員会との共催による教育フォーラムを毎年企画しています。

教育フォーラムでは、本学の研究者をはじめ県内外の実践者を招き、学校が今直面している重要な実践課題をテーマに議論しています。

平成30年度は、山梨県立図書館を会場に、以下のテーマで開催し、各回とも多くの関係者の方々にご参加いただきました。

第32回教育フォーラム

『考える道徳』の授業づくり

－内容・方法・評価を捉えなおす－ (平成30年11月19日)

第33回教育フォーラム

「子どもの育ちと外国語教育～幼・保・小を繋げて考える」

(平成31年2月18日)



第32回教育フォーラムの様子

教育フォーラムの概要は、教育学部附属教育実践総合センターHPで案内しています。

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/index.html>

附属学校園公開研究会

山梨大学教育学部附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校では、山梨県教育委員会や甲府市教育委員会、甲府市公立小中学校校長会、甲府市教育研究協議会などの後援を受け、各校園の実践と研究の成果を公開する公開研究会を毎年行っています。

例年、県内外から多くの関係者の方々に御参加いただいています。

〈公開研究会の日時と公開研究会主題〉

● 附属幼稚園(平成30年6月23日／12月1日)

〈研究主題〉

保育における子どもの声 -対話する保育を目指して-

● 附属小学校(平成30年6月23日)

〈研究主題〉

仲間と共に学び続ける子どもー学びがいを実感できる授業を通して

● 附属中学校(平成30年6月30日)

〈研究主題〉

新たな世界を主体的に創造する生徒の育成～資質・能力を見取る評価の在り方～

● 附属特別支援学校(平成31年1月27日)

〈研究主題〉

学びに向かう子どものための教育課程を目指して～日々の授業を通じた学習内容の明確化

附属学校園の公開研究会については、各学校園のHPを御覧下さい。

附属幼稚園 <http://www.kinder.yamanashi.ac.jp/>

附属小学校 <http://www.agr.yamanashi.ac.jp/>

附属中学校 <http://www.wgr.yamanashi.ac.jp/>

附属特別支援学校 <http://www.futoku.yamanashi.ac.jp/>

山梨大学教育学部のHPから、附属学校園の最新情報を見ることができます。

<http://www.edu.yamanashi.ac.jp/modules/fuzokugakkoen/>

学部長メッセージ



山梨大学 教育学部長
中村 和彦

日頃より山梨大学教育学部ならびに大学院教育学研究科に対し多大なるご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本学部は、平成29年3月に山梨県教育委員会との「連携協力に関する覚書」を締結させていただき、山梨県教育委員会とのさらなる連携のもと、教育に対し意欲をもった質の高い教員の養成と、魅力ある教員の研修を目指しています。

その一環として、平成30年度に文部科学省「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」を受託し、「若手教員学習会」と「初任者研修会への大学教員の派遣」を実施しました。具体的には、山梨県教育委員会との連携による教員の資質能力の向上を目指し、平成29年11月に策定された「やまなし教員等育成指標」に基づいた初任者研修システム及び研修プログラムの実施と検証を行ってきました。事業の実施にあたっては、教育委員会義務教育課・高校教育課、県内の4教育事務所、総合教育センターの皆様にご尽力いただいたことに心より感謝申し上げます。

今後も地域に根ざした教員育成を推進していく所存です。皆様のさらなるご指導とご支援を、よろしくお願いいたします。

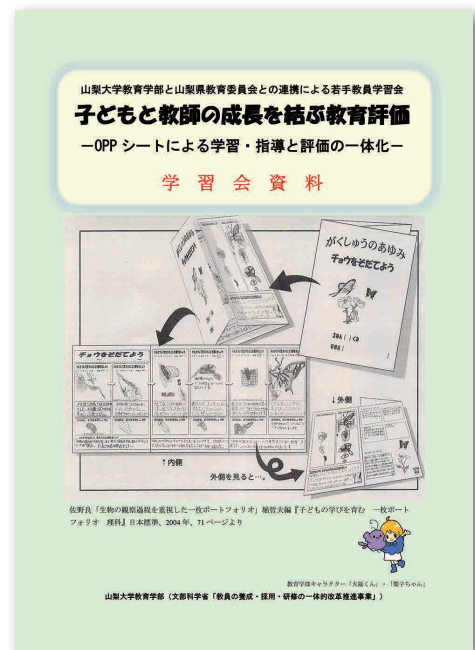
Information

● 若手教員学習会での配付資料を御覧いただけます！

「若手教員学習会」では、子どもと教師の成長を結ぶ教育評価におけるOPPA論について学びました。学習会資料を御希望の方は、下記のQRコードにアクセスしてください。

● 若手教員学習会は、来年度も続きます！

山梨大学では、来年度も山梨県教育委員会と連携し、「やまなし教員等育成指標」に基づいた初任者研修システム及び研修プログラムとして「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会（旧若手教員学習会）」を実施します。なお、来年度からは、山梨県総合教育センターとの共催となりますので、「山梨県総合教育センター 2019年度実施研修会一覧表」を御覧ください。



お問い合わせ先

山梨大学教育学域支援課

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37
TEL.055-220-8102 FAX.055-220-8791